

# ペットの災害対策 準備はできて いますか？



毎年9月20日から26日は、動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めるため、動物愛護週間と定められています。

台風シーズンを迎え、毎年のように全国各地で土砂災害や河川の氾濫などによる被害が報告されています。地震や津波などいつ起きるかわからない大規模災害に備え、平時から一緒に暮らしているペットの備蓄用品も購入しておきましょう。また、ペットと同行避難するための避難場所や避難方法など、日頃から家族みんなで確認しておくことも大切です。

## ■ 同行避難って？

ペットと一緒に避難することを「同行避難」と言います。過去の災害では、飼い主とペットが離ればなれになり、放浪するペットが多数発生した事例があります。一度はぐれてしまうと再会は困難です。家庭内で同行避難について相談しておきましょう。また、同行避難は必ずしなければいけないというものではありません。自宅が安全であり、定期的にペットの世話をするために戻れる状況にあるのであれば、避難所に連れて行かないということも選択肢の一つです。ただし、その場合も、毎日の食事と健康状態の確認が大切です。



## ■ 普段からペットの健康管理としつけをしましょう

災害は、人にもペットにも大きなストレスがかかり、さらに、慣れない環境で体調を崩しやすくなります。普段から健康状態に注意し、ペットの体を清潔に保っておくことも大切です。

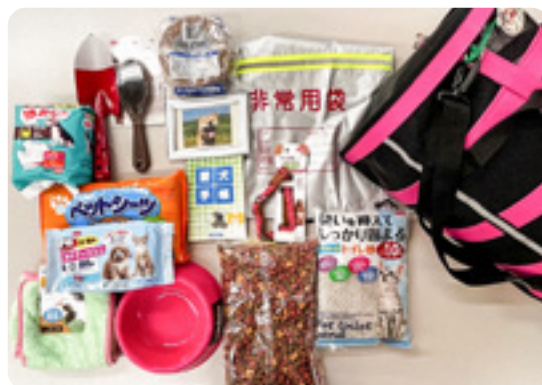
また、家族以外の人と避難生活を送る場合は、知らない人や他のペットに吠えてしまうなど、トラブルの原因になりかねません。普段から「しつけ」をしておきましょう。

## ■ ペット災害用品の備蓄をしましょう

災害時もペットのお世話は飼い主の責任です。災害時にはなかなか物資が手に入りません。フードや水、災害用品など必要なものを人と同じように準備し、緊急時には持ち出せるようにしておきましょう。

- フード、水、食器
- 療法食、薬
- ケージやキャリーバッグ
- 飼い主とペットのツーショット写真
- 愛犬手帳
- 予備の首輪、リード、排泄処理用品、  
ペットシート、タオル、ブラシ、ガムテープ など

※これは例です。必要なものがあれば各自準備しましょう。



照 会 環 境 課 ☎0537-1162